

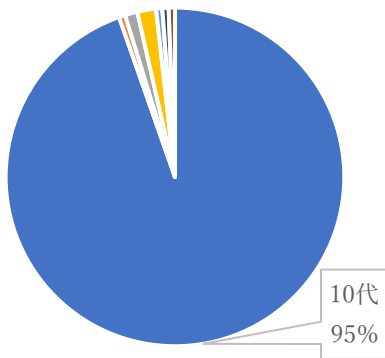
「菊川市子ども若者参画宣言(案)への意見募集」結果報告

令和5年度実施した「菊川市子ども・わかもの参画宣言(案)」への意見募集について、多くの方から、コメントをいただきありがとうございました。

次のとおり、皆さまからのご意見募集の結果についてご報告いたします。

意見募集の概要	
名 称	菊川市子ども・わかもの参画宣言
趣旨・目的	菊川市の子ども・若者のまちづくり参画の推進を目指すために、地域、NPO、学校、企業、子ども・若者当事者が、子ども・若者参加、参画のあり方を協議し、「菊川市子ども・わかもの参画宣言」として発出する。
実施期間	2023年9月22日(金)～2023年10月5日(木)
回答数	168人

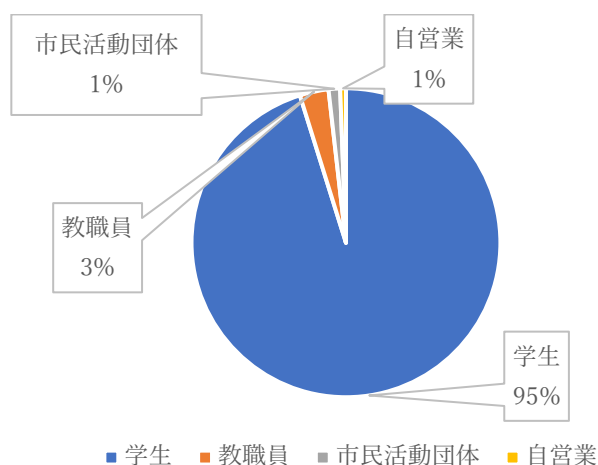
1. 年代



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代～

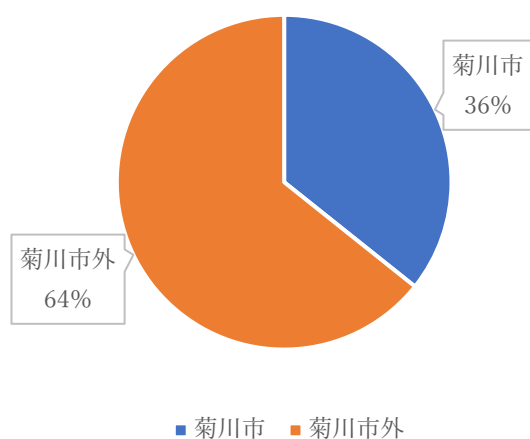
年齢	人数
10代	159
20代	1
30代	2
40代	3
50代	1
60代	0
70代	1
80代～	1

2. 所属



所属	人数
学生	158
教職員	5
市民活動団体	2
自営業	1
主婦	1
無職	1

3. 住まい



住まい	人数
菊川市内	60
菊川市外	108

4. 「菊川市子ども・わかもの参画宣言」の表記についてのご意見

○表現に関するご意見

意見①：本文は全て漢字表記の「若者」で統一しているので、タイトルも「菊川市子ども・若者参画宣言」の方がしっくりくると思います。

回答①：宣言のタイトルの表記に関しては、協議会の中で検討され、漢字よりもひらがなで表記した方がやわらかいイメージになるという理由のもと「わかもの」をひらがなで表記させていただくこととしました。

意見②：『全てのこども・若者』とは菊川市に住む・通うなど、菊川市に関わる全てのこども・若者のことです。」を「『全てのこども・若者』とは菊川市に住む・通う・訪れるなど、菊川市に関わる全てのこども・若者のことです。」に変更の提案をします。住む・通うは、自宅か学校か職場があることを想定しているので、「訪れる」があれば、そうでなくても（例えば掛川在住で掛川の高校生も週末にきくせん(市民協働センター)に来るケースも対象であることが明確になっていた方が適切と考えます。

回答②：「菊川市に住む、通うなど、菊川市に関わる全てのこども・若者」という表現の「など」に「訪れる」という意味が含まれているため、今回の注釈においては、「訪れる」をフォーカスせず表記させていただくことになりました。また、関係交流人口という視点においても、市外に住むこども・若者が菊川市に関わることは重要であると考えております。

*上記回答は、協議会で協議した結果を回答させていただきます。

○多かったですご意見

- ・ 良いと思います(29)
- ・ 特にありません(13)
- ・ 無回答 (5)
- ・

○賛同のご意見

- ・ 高校生が頑張っていて素晴らしいです。
- ・ 頑張っていきましょう。
- ・ 若者の意見が通りやすくなっていいと思います。
- ・ 私たち若者によってまちが良くなると思うのでとてもいいと思います。
- ・ 子どもや若者のために意見を反映させやすくするのはとてもいい考えだと思いました。
- ・ 比較的気軽に意見を言える機会を与えて頂けるのは、良いと思います。
- ・ 若者の大人達と違った視点からの案がたくさん出ると思うのでとてもいいと思います。
- ・ 若者が中心となっていて良いと思います。
- ・ 意見を表明できない若者など全員が参加できるのがいいと思いました。
- ・ こどもについて考えていてすごいと思いました。
- ・ 誰でも当たり前のように意見を出せたらよりよいまちを作っていけると思います。
- ・ このような活動をしていることを初めて知りました。良い取り組みだと思いました。
- ・ 大人だけではなく子ども(若者)の意見もしっかり分けて取り入れることで、個々の意見が聞けていいと思いました。
- ・ みんなに伝え、知ってもらうことはとても大切だと思います。
- ・ 若者が安心して暮らせることが一番大事な事だと思いました。
- ・ 若い人たちの意見も反映されつつあるのはいい傾向だと思います。

- ・子どもの意見を取り入れるのは嬉しいです。
- ・今の課題と向き合えていいと思います。
- ・自分もこのような取り組みをしてみたいと思います。
- ・どの視点からもわかりやすく表現された言葉になっていて、基点として良いものだと思います。
- ・こども若者に寄り添った良いものだと感じました。
- ・まちおこしをしていくという姿勢にとっても興味をもちました。

○期待するご意見

- ・こどもや若者は地域の宝です。こどもや若者が住みやすい、住みたいと思いますまち、戻ってきたいまちにしていくことが静岡県は大きな課題であると思います。このような取り組みが一部地域だけでなく、多くの地域に派生していくことを祈っています。頑張ってください。
- ・中高生の意見が浸透してきて欲しいです。
- ・あまり知られていないので、もっと若い人たちが中心になるまちづくりが出来ればいいと思います。
- ・より子ども・若者の意見を取り入れるといいと思います。
- ・若者の社会参加が進むと思いました。
- ・子どもたちの豊かな未来を想い、菊川のさらなる発展にもつながる心のこもった宣言だと思いました。この宣言が若者だけでなく、さまざまな世代にとってより一歩踏み込んだ相互理解のきっかけとなるよう願っています。
- ・宣言の内容を応援します。想像力を刺激しあい活動していくプロセスを大切にしてもらいたいです。
- ・この宣言で活性化していきたいです。
- ・中高生の意見が浸透してきて欲しいです。

○疑問

- ・こういったものなのか具体的なイメージがつきません。
- ・宣言を通してどのようにしたいのかわかりにくいです。
- ・具体的なこどもの年齢が気になりました。
- ・わからない(2)

○その他のご意見

- ・子どもが少なくなっているので増えて欲しいです。
- ・子どもが地域に参加できる機会がたくさん増えるといいと思いました。
- ・幅広い世代の人が交流できるイベントがあればいいなと思いました。
- ・島田市など他の市でも実施されれば良いと思いました。
- ・菊川駅周辺でのイベントだけでなく御前崎市寄りの方でもイベントをやって欲しいです。
- ・住みやすい街にして欲しいです。

- ・あまり知られていないのでもっと若い人たちが中心になる街づくりが出来ればいいと思います。
- ・もっと学生の声を聞く場を設けた方がいいと思います。
- ・イベントがあるといいと思います。
- ・ステップをふんでここまで形にしたことにまず敬意を表したいと思います。ご苦労さまでした。しかしこれは一つの途中経過であり、ゴールとは思いません。ここに書かれている事は努力目標であり、その具体化の取り組みはまだ道半ばでしょう。ある地域において、何かの問題が存在する時、それに対して誰かが「これは問題である」と声を上げなければ、それは「問題」になりません。これは問題の顕在化といわれて、それが多くの人によって、また公的、政治的にも問題とされなくては、解決にむかって取り組むべき「問題」になりません。そして今回のように、努力目標の提示はその次の段階として目標実現に向けての道筋を提示するという責任が生まれます。その意味において、二つの問題を指摘したいと思います。ひとつは、国際的な合意として日本政府も参加している「子どもの権利条約」の問題があります。子供や若者が、～に参加させる、とか大人の努力の中でとりあつかわれる「客体」としてだけではなく、子供の権利条約が指摘しているように「権利の主体」としてとらえられるべきです。そういうわけでこの町の中で「子供の権利条約」についての勉強会などからスタートしたらいいかがでしょうか。そして最終的には「子供の権利条例」の成立も視野に入れていけたらいいですね。もう一つの問題が行政の取り組みです。はっきりいって立ち遅れています。行政には「子供の権利条約」を取り扱う部門さえ決まっています。だから今回のような取り組みとこれからの活動において、ひとつの戦術として常に行政を引き込む作戦が必要だと思います。若者がこのような取り組みを進めていく事に高齢者の一人として深く感謝し、支援したいと思います。